

ふりがな 氏 名	まつい かずひさ 松井 一久		職 名	准教授
取 得 学 位	博士 (リハビリテーション療法学) 修士 (理学療法学) (リサーチコース) 修士 (Master of manual and sports physiotherapy) (コースワーク)	学会での受賞歴	なし	
主な担当科目	基礎ゼミナール、見学実習、基礎運動学演習、理学療法動作分析学演習、理学療法評価学実習、運動生理学実験			
所 属 学 会	日本運動器理学療法学会 (平成 28 年 2 月～現在に至る) (理学療法標準化検討委員 令和 4 年 8 月～現在に至る) 日本スポーツ理学療法学会 (平成 28 年 2 月～現在に至る) 日本筋骨格系徒手理学療法研究会 (令和元年 6 月～現在に至る) (評議員 令和 3 年 8 月～令和 4 年 5 月、理事 令和 4 年 6 月～現在に至る) IFOMPT (The International Federation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapist: 国際整形徒手理学療法士連盟) 会員 (平成 29 年 4 月～現在に至る) JFOMPT (The Japanese Federation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapist: 日本整形徒手理学療法士連盟) 会員 (平成 29 年 4 月～現在に至る)			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
理学療法士国家試験対策としての学習方法指導 (岐阜保健短期大学)	平成 29 年 12 月～ 令和 2 年 3 月	(1) 実践例の具体的内容 学内模擬試験の結果を分析した評価表を学生面談時に配布した。 各学生の自己学習ノートとその理解状況を確認し、指導を行った。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 本学 理学療法士国家試験合格率が全国合格率を上回ることができた。
成績不良者への学習方法指導 (岐阜保健短期大学)	平成 29 年 12 月～ 令和 2 年 3 月	(1) 実践例の具体的内容 学内模擬試験において最も成績が不良であった学生を担当し、学習方法、学習経過を確認しながら指導を実施した。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 理学療法士国家試験において合格することができた。
客観的臨床能力試験 (OSCE) に筆記形式の学力試験の追加導入 (岐阜保健短期大学)	令和元年 5 月	(1) 実践例の具体的内容 臨床実習 2 ヶ月前に OSCE の筆記試験課題を提示し、各臨床実習の目的に沿った。試験を臨床実習前に実施した。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 例年よりも学内模擬試験における正答率が上昇した。 自己学習をする学生を学内で見かける頻度が増加した。
骨格筋モデルの作成 (岐阜保健短期大学)	令和元年 8 月	(1) 実践例の具体的内容 理学療法学専攻 1 年生に対し、前期に学んだ解剖学の復習として骨格モデルに紙で作成した筋を深層筋からつけさせ、筋の起始と停止、構造の学習を実習形式で実施した。完成した骨格筋モデルをもとに触診の実技を行い、筋の走行を学習させた。 (2) 当該教育方法を実践したことの効果 学生の骨格筋に対する知識が歯面状のものではなく、三次元的なイメージとして定着した。 解剖図鑑を再度熟読する頻度が増加した。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
ホームルームの実施	令和4年	(1) 実践例の具体的内容 理学療法学科1年生に対し、基幹科目となる解剖学、運動学の繋がりとなる講義、医学用語、感染対策、臨床実習前の講義を実施、演習として車いす介助、松葉杖の使用、骨格モデルの組み立てを実施することにより講義として学んでいる知識が今後どのように活用されるか学習・経験させた。 (2) 当該教育方法を実践したことへの効果 上級生のいない当該学科の現状において、理学療法を学んでいくための意義や流れが具体的なイメージとして定着した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
著 書	運動学とバイオメカニクスの基礎	共	令和元年9月	南江堂	監訳：黒澤 和生, 赤坂 清和, 河西 理恵 分担翻訳者：河西 理恵, 松井 一 久, 高林 知也, 鈴木 啓介, 城 岡 秀彦, 他 10 名 全 346 頁中、Foundation in Kinesiology and Biomechanics, (著 者:Samuels V, 出版社:F.A. Davis Company, 2017 年出版)内の Structure and function of the shoulder complex を「肩関節複合体の構造 と機能」(153-176 頁)に翻訳。
	理学療法ガイドライン	共	令和3年	医学書院	全 648 頁中、『第 5 章 頸部機能障 害理学療法ガイドライン』をシス テムティックレビュー班副班長と して執筆
	図解理学療法検査・測定ガイド 第 3 版	共	令和5年	文光堂	編者：内山 靖 全 1033 頁中、Ⅲ部 整形外科的検 査 (Spurling テスト, Jackson テスト, Adson テスト, 棘上筋腱炎テスト, drop arm test, Yergason テスト, Allis テスト) を執筆
論 文	Translational movement within the glenohumeral joint at different rotation velocities as seen by cine MRI, (査読付)	共	平成 30 年 3 月	Journal of Experimental Orthopaedics (RG impact factor 1.75), 第 5 巻 7 号	Matsui K, Tachibana T, Nobuhara K, Uchiyama Y、全 8 頁 (doi: https://doi.org/10.1186/s40634-018-0124-x)
	客観的臨床能力試験導入後の臨床実 習成績の変化：客観的臨床能力試験 導入後の臨床実習成績おける差の比 較と分布の比較, (査読付)	共	平成 30 年 4 月	岐阜保健短期大学 紀要 第 8 号	池田 雅志, 松井 一久, 小久保 晃 他 4名, 37-45頁
	岐阜保健短期大学リハビリテーショ ン学科による企業スポーツへの新た な取り組み：株式会社トーカイ企業 運動会における体力測定, (査読付)	共	平成 30 年 4 月	岐阜保健短期大学 紀要 第 8 号	宇佐美 知子, 池田 雅志, ... 松井 一久 他名, 53-62頁
	「三方良し」の理念で行う理学療法啓 発イベント：岐阜県理学療法士会と柳 津町まちづくり協議会の協働事業, (査読付)	共	平成30年12 月	岐阜県理学療法士会 学 術誌第 23 号	池田 雅志, 小久保 晃, ... 松井 一 久 他 9 名, 53-56 頁
	どんとこいこい！祭り：平成 29 年と 平成 30 年アンケート結果の比較, (査 読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第 9 号	池田 雅志, 小久保 晃, ... 松井 一久 他 4 名, 37-43 頁

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
論 文	Normal Glenohumeral Flexion and Abduction for Physical Examination, (査読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第9号	<u>Matsui K</u> , Ikeda M, Iwashima T、55-62 頁
	Kinematic analysis of functional shoulder motion in healthy adults, (査読付)	単	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第9号	<u>Matsui K</u> , 63-69 頁
	A verification of motion artifact using cine MR imaging, (査読付)	単	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第9号	<u>Matsui K</u> , 70-79 頁
	客観的臨床能力試験(OSCE)における物理療法課題の成績と学内成績の比較: OSCE を視野に入れた物理療法学教育への端緒, (査読付)	共	平成31年4月	岐阜保健短期大学 紀要 第9号	池田 雅志, <u>松井 一久</u> , 小久保晃 他4名、86-95 頁
	転倒予防における足部への理学療法介入効果・持続効果: ランダム比較試験, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	安藤 春菜, 川瀬 萌子, <u>松井 一久</u> , 7-11 頁
	立位バランス改善のための運動療法の介入効果-座位での肩甲骨・骨盤PNFアプローチの活用-, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	岩島 隆, <u>松井一久</u> , 小池孝康 他4名, 21-24 頁
	足趾に対する運動療法の違いによる立位バランスの改善効果, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	高橋 孝毅, 小田切 柁, <u>松井 一久</u> , 31-34 頁
	垂直跳躍における足関節の跳躍高への寄与, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	山内 隆, 小林 大悟,... <u>松井 一久</u> , 他1名, 35-38 頁
	就労者の運動習慣, 身体活動量, 座位行動と体力測定結果との関連性, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	小池 孝康, 宇佐美 知子, ... <u>松井 一久</u> 他3名, 47-52 頁
	理学療法学学生による関節可動域計測の信頼性と再現性, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	<u>松井 一久</u> , 池田 雅志, 小池 孝康, 53-55 頁
	経皮的電気刺激療法 (TENS) における痛覚変化の年齢による相違—定量知覚針を用いた除痛効果の比較— (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	池田 雅志, 小島 誠, ... <u>松井 一久</u> 他3名, 68-71 頁
	本学在学生の自我構造と臨床実習前後におけるストレス対処行動について, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	岩島 隆, 池田 雅志,... <u>松井 一久</u> 他3名, 83-87 頁
	物理療法における客観的能力再試験温熱療法課題の客観的臨床能力再試験と臨床実習II (評価) との関係 (査読付)	共	令和2年1月	岐阜県理学療法士会 学術誌 第24号	池田 雅志, <u>松井 一久</u> , 小島 誠 他5名, 88-93 頁

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称 (会場名)	備考
論文	The quantitative analysis of anterior humeral translation in various glenohumeral positions, (査読付)	単	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻,	<u>Matsui K</u> , 54-58 頁
	Muscle onset timing of deltoid and rotator cuff muscles in Normal Shoulder Movements, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻	松井 一久, 池田 雅志, 岩島 隆, 59-63 頁
	2ステップテストおよび立ち上がりテストの結果に基づくミナモダンスの効果 -3年間の資料からみるロコモティブシンドローム・啓発イベント-, (査読付)	共	令和2年1月	岐阜保健大学紀要, 第2巻	池田 雅志, 小島 誠, ...松井 一久 他3名, 154-159 頁
	The immediate effect of neuromobilisation in stage 2 idiopathic adhesive capsulitis: a preliminary study , (査読付)	共	令和2年12月	Journal of Asian Orthopedic Manipulative Physical Therapy, vol. 1	<u>Matsui K</u> , Tachibana T, 37-44 頁
	Dynamic Stability During Repetitive Axial Glenohumeral Rotation Using Cine MRI in Healthy Adults, (査読付)	共	令和4年6月	Journal of Mechanics in Medicine and Biology (SCI impact factor 0.897), (印刷中)	<u>Matsui K</u> , Tachibana T, Nobuhara K, Hasegawa T, Uchiyama Y ( doi: https://doi.org/10.1142/s0219519422500622)
学位論文	The quantitative analysis of the humeral translation at different rotational velocities: synchronizing with cine MRI and video camera to identify the shoulder rotation angle	単	平成30年9月	名古屋大学大学院 博士論文	<u>Matsui K</u> , 全56 頁
学会発表	本学在学生の自我構造と臨床実習前後におけるストレス対処行動について, (口頭発表)	共	平成31年2月	第29回岐阜県理学療法学会 (各務原市民会館、各務原市中央ライフデザインセンター)	岩島 隆, 宇佐美 知子,...松井一久,他5名.
	学内での OSCE 実施が臨床実習に及ぼす影響 ～臨床実習終了後の実習振り返りシートから見た新たな課題・目標設定について～, (口頭発表)	共	平成31年2月	第29回岐阜県理学療法学会 (各務原市民会館、各務原市中央ライフデザインセンター)	小久保 晃,松井 一久,小池 孝康,他5名
	The Immediate Effect of Neuromobilisation in Patients with Idiopathic Adhesive Capsulitis: a Preliminary study, (口頭発表)	共	令和元年9月	Asian Confederation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapy Congress (東京 首都大学東京 荒川キャンパス)	<u>Matsui K</u> , Tachibana T
	健常成人の足指把持筋力 ～就労者を対象とした年代、性別比較と身体機能との関連～	共	令和2年2月	第30回岐阜県理学療法学会 (中部学院大学)	小池孝康、宇佐美知子、藤井稚也、小島誠、廣渡洋史、 <u>松井一久</u> 、他5名、60 頁
	神経ダイナミックテストにおける構造的鑑別の信頼性 (ポスター発表)	共	令和4年11月	第10回日本筋骨格系徒手理学療法研究会学術大会 (東京工科大学)	<u>松井一久</u> 、鈴木理咲子、中井恵子、桑島瑠名、立花孝